

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)
 (項目5, 7, 8, 9, 14, 15は評価重点項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の行事に参加したり、日々の買物でもご利用者と共に 出掛けている 一人ひとりについてよく話し合いケアにあたっている		地域の一員として…の意識はまだまだ薄いかもしれないが、今後も考えて行きたい
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念について話し合う機会を設け、意識を持てるようにしている		日常の目の前のことに追われがちだが、利用者が、孤立することなく地域で暮らして行けるよう今後も支援して行きたい
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホーム内には掲げているが、理念についてお知らせ等をしていない		広報誌等を通して理念も含め、グループホームのことをもっと理解して頂けるようにする
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出かけた時や、買物に出かけた時、挨拶をしたり立ち止まって話をしたり、話掛けて頂いたこともある。立地的に近隣に民家が少ないのは残念だが、ご利用者の中では、隣接するケアハウスにおられる友人が遊びに訪れたりすることもある		出掛けることはあっても、訪れて頂くことが少ないので、近隣地域の方が気軽に立ち寄れるように、広報等を回覧板で回して貰いホーム側からの発信を検討中である
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	以前入居されていたご利用者のご家族よりお誘いや案内を受けたりして、老人福祉大会や、高齢者運動会に出掛けたりする機会が増えてきた。村内出身のご利用者においては、その場で多くの知人に出会うことができ、良い交流の場もなっている		在宅に戻られた利用者の協力も得られ地域の場へ出て行くことが増えている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	本年度から導入されるキャラバンメイトの研修に等事業所より2名研修に参加させて頂く事となっている		研修終了後、認知症のよりよい理解が広まるよう努めた行きたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価項目を通し、改めて必要なことや、大切なことに気付く良い機会となっている		評価結果や項目を等して等事業所なりに改善できることを今後も検討して行きたい
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者に状態や行事での様子や、事業所の現況を報告し相談することで、いろんな意見を頂いたり、ヒントになることも多々あり、良い機会となっている		構成メンバーを増員しよりよいケアになるよう努めて行きたい
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	待機者情報や、入退居情報、問い合わせ状況など連絡や相談をさせて頂いている		職員の研修等にも巻き込んで行きたい
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在1名成年後見制度を利用している。法人内外の研修を通して年1回程度ではあるが、参加している		今後も機会があったら参加して、知識、意識の向上を図りたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ヒヤリ・ハットにも意識を向け、小さな内出血でも疑問を持ち、その都度話すようにしている		研修に参加できる機会を増やし知識、意識の向上を図りたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時のみならず、入居前から良く説明を行っている</p>	<p>グループホームに入居することになったことを理解出来ずと感う方も居られるが、傍に居て会話対応することで落ち着かれる方も居られる 入居後の日常の中でも混乱する方がおられるがその都度対応させて頂いている</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護相談員受入れを通し月1回第三者と話せる機会がある。その後当日のうちに介護相談員さんから情報を頂いている</p>	<p>介護相談員が受けた素朴な疑問もその日のうちに伺い説明させて頂いている</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>3ヶ月に1度、近況報告表と預かり金出納帳とレシートを送付、お便りを通して職員の異動の報告もさせて頂いている また、受診後の報告や状態変化に伴う報告はその都度させて頂いている</p>	<p>今後の継続して行く</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者、職員共に家族や親戚の方々の面会時にも話しやすい雰囲気を持っており本人を交え笑顔も多く見られている</p>	<p>ご家族の不安も含め、今後も良い雰囲気作りに努めてゆく</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議や職員からの情報を通して必要と思われることは変更したり、改善に努めている</p>	<p>職員からの意見も貴重でホームの運営には欠かせない</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務時間帯の変更や、マンツーマン対応が必要な方への勉強会及び担当表を目安として作成し対応している</p>	<p>今後ご利用者の状況に合わせた対応ができるよう努めて行く</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ご利用者の様子にも配慮しながら、また職員も馴染めるよう勤務表作成にも配慮し、心を許せる職員が途切れないよう勤めている</p>	<p>顔なじみが居る安心感の大切さを理解し対応しているが、本人の強い思いでの退職に対して引きとめるのは困難となっている 利用者が不安にならないよう職員のフォローにも努めている</p>
18-2	<p>マニュアルの整備</p> <p>サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。</p>	<p>完全ではないが、マニュアル作成途中である</p>	<p>少しずつではあるが進んでいる 今後も整備して行く</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている</p>	<p>プリセプティフ・プリセプターシステムを行うことにより共に成長できるよう行った</p>	<p>その都度、疑問や不安に思うことを直ぐに言え、また法人主催の研修に出ることにより意識を高めることが出来ている</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内のグループホームの管理者会議や、村上・岩船地域にあるグループホーム管理者の意見交換会や、村上・岩船地域グループホーム職員の交流会を行ったりしながら、素朴な疑問や、悩みなども言い合えるようにしている</p>	<p>今後も続けて行き刺激を受けながらより良いホーム作りに反映していきたい</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩時間を決め共有スペースから離れる時間を作ったり、勤務表作成時においては、希望休に添えるよう配慮している</p>	<p>利用者の対応に悩みを抱えている職員も居り、抱え過ぎないようフォローにあたっている</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>役割分担や、居室担当等、職員各々に無理がないように配慮し担当してもらっている</p>	<p>認知症について今まで以上に学び、理解することで楽しみながら、一緒に笑い会える職場にして行きたい</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>電話での相談や、見学にいらしたとき、現在の様子や、不安なことなどを共感しながらうかがっている</p>	<p>家に対する思いも含め受けとめている</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>見学や、事前面接時、本人はもちろんのこと、ご家族、ケアマネ、担当スタッフからも情報集収を行い知る努力をしている</p>	<p>環境が変わることで戸惑う本人の様子も含め、本人・家族の思いを重く受け止めている</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	得た情報から本人の意向、家族の意向も含め暫定のケアプランを作成し対応している		必要な時には家族も巻き込んだプラン作りを行う
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	開設当初は入居準備の為予行練習のように送迎し日中過していただいていたこともあったが、現在は入居当日本人が落着くまで家族に居て頂いたり、管理者と一緒に過したりしている。		本人、他、入居者、職員の不安を考えればお互いに少しずつ慣れていくのが理想だと思うので、職員、ご家族の協力の下可能な限り行って行きたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者、職員が共に大笑いしている姿はとても微笑ましく思える。教わったり、教えあったりしながら共生できる楽しさを感じている。		余裕が無い日も実際には多いが、その中でも一緒に暮らしていることが良き学び、気づきになることを自覚しながら、ケアにあたって行きたい
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会にいらした時や、書面でも日頃のことや、大笑いしたこと喜び合ったこと対応についてなどお話をさせて頂いている		本人を取巻く全ての人々が協力者であるので利用者の今を伝え理解していただいている
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	在宅生活をしていた時にすれ違ってしまった心が、入居後ご家族からの話も真剣に聞くことで少しずつ蟠りも解けている様子		今後もご家族が安心して笑顔で面会に来れるよう配慮して行きたい
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出時や、面会時会話の内容が混乱しないように一緒に居させて頂くこともある。それにより、日々様子が分かって頂けたり、話しやすくなることもある		出掛けることは少ないが、可能な限り支援して行きたい
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士でよく会話する方、一緒に作業する方が自然に隣になっていることもある。会話が不可能な方の場合は、職員も一緒に入り橋渡しとなって居る場合もある		話が混乱している時には一緒に話せるように職員も入れていただいている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	時折様子を伺ったり、ご家族のお話を聴く機会がある。また、他施設に入居されたご利用者のところへ遊びに行ったりする職員も居て、近況や、思い出話に花が咲くこともある		継続的なケアや協力が必要な場合には対応して行く
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式シートを使用しておりご家族にも協力を得ている 本人・家族の意向を聞いてケアプランを立案している		センター方式の活用を継続し、その都度本人・家族に確認して行く
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用し把握に努めている 記入においては、家族にも協力して頂いてる		ご家族や、面会者から得た情報や、ご家族に記入して頂いた事を参考にし、今後も把握に努めて行きたい
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	センター方式の使用、生活記録の活用、日々の申し送りの際に把握に努めている 会議の場で、利用者一人ひとりについての話し合いを行うことにより情報の共有に努めている		職員間での話し合いの回数を増やしていく
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の意向がある場合は、それを踏まえ現場職員で話し合い作成している 本人・家族からの意向が“特に無い”時や、聞けない場合もある		本人・家族を交えてのサービス担当者会議
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じての見直しは出来ている 変化が生じた場合の対応は出来ていてもプランの見直しは直ぐに出来ていない時もある		1ヶ月毎の評価を行う中で必要に応じて期間前に見直しを行う

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活記録に記入していることで情報共有が出来ている 記録の内容をもとに介護計画の見直しに活かしている		気づきや工夫といった内容の記入をより多くして行く
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービス対応は行っていない 短期利用については申請しているが今までに利用したケースはない		キーパーソンの入院により、期間限定の入居を受け入れたことがある
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	月2回お話や歌のボランティアの方が来訪している ケアハウスでの行事にも参加させていただいている		ケアハウスとも相談し地域資源とのつながりを強化する
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用している方はいない		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入退所に関係することや入所希望に関する相談についてアドバイスを受けたりしている		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームから近いところを希望されるケースもあれば今まで通りのかかりつけに受診されてる方も居られるがそのまま支援させて頂いている		新たな医院や、科の受診が必要となったときには同行させて頂いている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	全入居者が認知症の専門医にかかっている訳ではないが、日頃の様子や、情報提供し相談させて頂くこともある		現在の認知症の状況を医学的にも把握する為全ての利用者が専門医にかかれるように支援して行きたい
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	素朴なことも地元医院の看護職に相談できる		関川村の栄養士にも相談したり、食事に対するアドバイスもいただいている
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院・入院中・退院前・退院時、同席させて頂いている		ホームに戻る為にリハビリが必要とする場合も相談させて頂いたり、今後の状態についても助言を頂いたりしている
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今の段階で看取りは困難ではあるが、体調変化に伴い今後のことをご家族の状態も踏まえながら検討させていただいている		利用者の高齢化に伴い、職員自身も知識をつけ学んで今後どうありたいか話し合っただけでなく必要がある
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化に対するケアや見取りが、思いだけでは出来ないことを十分に理解しかかりつけ医の判断も踏まえ病院対応や施設申込の橋渡しなども行っている (地元にかかりつけ医は看取りに対して困難と判断している)		夜間無医村の為ホームでの看取りは困難であるとは思いますが、戻れる可能性が少ない入院となっても本人が住みなれたホームに少しでも長く居たいと言う思いや家族の思いも汲み直ぐに退所の判断はせず様子を見させていただいている
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住まいを変える必要に会った時事前に十分に話し合い、また受診等にも同行し経緯も含めて次の住処へ移れるようにしている 情報提供も行い、入居後も様子を伺いながら対応方法等をお伝えすることもある		在宅に戻る時次に使うところが多様化するケースが多いと思われるので緻密な情報提供を心掛けたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居契約時にご家族から情報提供に関する同意書は頂いている</p> <p>個人的な事例を研修等で使用する場合は、新たに待て同意を得るようにしている</p>	<p>理解しやすいように方言も使用しているが言い切り口調にならないように注意している</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している</p>	<p>利用者の方々が理解しやすい言葉で説明やお話している</p>	<p>言葉で言い表せない方には行動から察知し対応している</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>特に日課等はなく思い思いに過ごされてる方が多い</p>	<p>運動不足なので出来る範囲で少しずつ運動する時間を取り入れて行きたい</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>入所以前から利用していた理美容室へご案内させて頂いている方も居れば、ホームへ訪れる場合もある</p> <p>希望され職員がカットすることもある</p>	<p>鏡をしっかりと見ながら整髪をされてから食堂へ出て来られる方もあれば、職員の言葉や手を必要としている方もおられるが</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>下拵えは利用者がすることが多い</p> <p>利用者に教えていただきながらキッチンに立っている職員も居る</p>	<p>利用者が作り上げたごま和えや・白和えは甘めではあるが好評である</p> <p>昔ながらの手つきに熟練さが滲み出ている</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>禁酒・禁煙を医師からとめられ嗜好品ではあるが出来ない方も居られる</p>	<p>未だ喫煙をしている間隔で煙草を希望されるが、その都度会話対応させて頂いてる</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご本人の様子を伺ってトイレ誘導が必要な方も居られる 日中は布パンツ・パッド夜間は紙パンツ・パッドとさせていただいてる方も居られる		夜間も声掛けトイレへご案内させていただいている
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できるよう準備している 自らお風呂・・・と言われる方は少ないが利用者に伺いながら入浴して頂いている		ゆっくり温まれるようにお話ししたり歌を唄ったりすることもある
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりに合わせた支援が出来ている 夜間入床が遅くなってしまっている方には声を掛けさせて頂いている 中々寝付けない方には添い寝も行っている		本人が暑さ寒さによって布団等の調節が出来ない場合や必要な方には安全に配慮しながら湯たんぽも準備している
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	外出が気晴らしの方、読書・歌が気晴らしの方、行事が気晴らしの方、手伝いが気晴らし・張り合いの方と各々違うが利用者に合わせてできている		個々の持っている力を引き出せるよう、また役割が持てるよう支援してゆきたい
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	毎日、日課のようにお財布のお金を数えている方も居られる (使用するまでには至ってない) 家族からお預かりしたお小遣いは事務所でお預かりさせていただいている		外出時ご自分でできそうな方には支払うこと等も支援していきたい
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出を好まない方も居られるが、職員が用事を足しに行く時に一緒に出かけたりすることもある		日常的にとまでは行かないが少しずつ近くでも良いので外出の機会を増やしたい
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	全利用者に出来ているわけではないが、ご姉妹が施設に入所されている方も居られ面会の支援をさせていただいたり利用者が以前居られた施設へ一緒に遊びに行ったりすることもある		生活の行動範囲が広がるよう外出の機会を増やし支援して行きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎晩手紙を書く方が居られ職員からご家族にお渡ししている 事務所の電話もいつでも使用可能である		面会者があるとその報告を家族にされる利用者もあり、伝わりにくいことなどは職員から伝えさせて頂く場合もある
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	仕事の合間の休憩に顔を出して下さるご姉妹や近くに来たから・・・とよって下さる方も居られる(頻繁ではないが・・・)		職員はいつでも笑顔で出迎えている 利用者も職員に見せる表情とは違う表情を見せて下さる
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	活動的な方とは共に行動したり見守ったり、また共に休むことで対応している		今後も理解を深める為に勉強会も行って行きたい
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることが抑制であることを理解している		玄関にも扉開閉チャイムを設置し気付けるようにしている
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	記録にもチェック表を設け昼夜通して所在・安否確認をさせて頂いている		転倒リスクのある方やトイレ案内が必要な方には他室に居ても起きたことがすぐわかり対応できるようにチャイムを設置させていただいている
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の内服薬は事務所にて管理しているが、現在の利用者の状況において包丁等を鍵のかかるところに保管する必要が無いので特に保管はしていない		夜勤者1人の時間帯は誤飲防止のため台所洗剤、スポンジ等は棚に保管している
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	昨年行方不明事故があり大捜索に至った経緯を踏まえ死角を軽減する為にキッチンに小窓を設置した 転倒リスクのある方に対してや、介護の手を必要としている方に対しては直ぐに気付くことができるようチャイム等も活用している		夜勤者が1人の時間帯は特にチャイムがあることで職員の安心感にも繋がっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に行っていない		AEDも含めて前職員参加の訓練を10月・11月で実施予定
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災避難訓練に関しては利用者参加で年2回実施している過去に水害により全村避難勧告が発令された時、中学校の3階の教室であった為ADL状況も踏まえて避難場所を検討していただけるよう話し合いすることも出来た		災害時の協力を得る為にも、運営推進会議等を等して相談・検討していききたい
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	起こり得るリスクについて会議の場や申し送り、ヒヤリ・ハットを通して話し合っている		起こり得るリスク・ヒヤリ・ハット等ご家族にも連絡している
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	変化が見られ、受診が必要な時には家族に連絡し受診して頂いたり、家族対応が不可能な方には、ホーム職員で対応している		定期受診等で変化があった場合は担当者より家族連絡している 突発的な受診に対しても同行させて頂いたり、家族・本人の不安も踏まえ対応している
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は把握しており、変更があったときには、起こり得る症状も含め周知している		内服薬変更後の報告等も行っている 必要な場合には、日々のバイタル表のコピーも持参している
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	内服されている方も居られるが、まめに水分をお出ししている 繊維のある食材も軟らかく煮るなどして提供している		運動不足なので時間を上手に使いながら導入していきたい
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後のお茶で済ませている方も居られるが、居室にて声掛けやお手伝いをさせて頂きながら行っている方も居られる 1週間に1回夜間技師を洗浄剤に入れ消毒させて頂いている		毎食後全てのご利用者が口中が清潔に保てるよう促して行きたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	おおそは同じメニューであるが嗜好によりパンとごはんが選択できたり、丼物と気に別盛りにさせていただいてる方も折られる		むせやすい方には、トロミ剤を使用したり、体重増加傾向にある方には、盛りを少なくするのではなく主食をお粥とさせて頂いている事もある 必要な方にはエンシュアも摂取して頂いている
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人単位でも感染症対策委員会がありマニュアル作りや、対応策等を検討しており、メンバーも各部門の職員で構成されている		インフルエンザの予防接種では家族対応の受診時にしていただいている利用者も居られるが、ほとんどの利用者は、家族に同意を得て往診対応で予防接種を受けている職員も全員予防接種を受けている 出勤時は、毎日うがい手洗い後、現場に入っている
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材調達は1日おきに行っており、入梅時期は刺身等も控えている 刺身等は当日購入を原則としている		手洗いはもちろんのこと、ハイターでの消毒も心掛けている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	降雪時屋根からの落雪が心配であったが風除湿を設置することで防ぐことができるようになった		玄関まわりに花を飾りもっと明るい雰囲気作りをしていきたい
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	時には静かな空間に、時には、懐メロをかけることで昔を思い出すきっかけになったりしている また天気の良い日は、採光により電気をつけなくても自然の光を浴びることができる環境となっている		何でも口にしてしまう方が居られ、緑や花がほとんど無い環境となっているが、異食にも配慮しながら季節をを感じやすい環境にしていきたい
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室で過ごす方、居室で過ごす方、洋間で過ごす方、利用者同士で話し込む方、思い思いの時間を過しておられる		皆と一緒に苦手の方や賑やかなところが苦手な方も居られるので事務所で過したり共に過ごすことで落ち着かれている方も居られる

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族状況によって居室内が寂しい部屋もあるが、入居時にはご自宅で使用していたものを運び入れて頂くようお願いしている		本人に馴染みのあるものを持ってきていただけるよう家族に働きかけ、本人の居心地の良い空間作りをしていきたい
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	暑がり、寒がりの方様々なので、各々の状況に合わせて空調調節させていただいてる 特に猛暑の時など西日が当たる部屋は、室温が上昇するので室内で熱中症になったりしないよう配慮している		今後も朝・夕の気温に合わせ衣類の調整等の声掛けを行って行きたい
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	基本的にはバリアフリーとなっている トイレの高さが高すぎる方には、本人が使用するトイレに踏み台を用意しこのトイレでも安心して使えるようにしている		現在布団の方も居られるが、状態によって必要な時はご家族と相談してベッドを入れたり、むきをかえたりさせて頂いている
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの理解力に合わせた言葉で対応している 手順を一つ一つ説明することで出来ることも多くある		今後もアンテナをはり出来そうなことへの支援に取り組んで行きたい
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	現在ホーム前の広場が活用できていないが、憩いの場になるような庭づくりを検討中である		現在ホーム前の広場が活用できていないが、憩いの場になるような庭づくりを検討中である その中で共に楽しんで作業等をして行きたい

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎日入浴できるように準備している
 利用者について月に1回は必ず話し合っている事
 業務について職員の意見も大いに取り入れ実践する事